

平成17年度 土別地方中体連バスケットボール大会 女子 戦評

(女子はリーグ戦でしたが、事実上の決勝となった 土別南 - 土別 の戦評を載せたいと思います。)

		7 - 7		
土別南中	61	21 - 14	39	土別中
		16 - 9		
		17 - 9		

主審 齊藤
副審 堀口

第1ピリオド

土別南オールコート1-2-1-1ゾーンプレス 土別中ハーフコートのマンツーマンでゲームが開始された。両チーム堅くなったのか、開始直後ミスやファールが重なり、1分間0-0のまま進行した。1分経過後、土別中の1年生 影井のドライブに対して土別南がファールを犯し、バスケットカウントとなる。その後も、土別南のシュートファールによる 松のフリースロー 影井のフリースローでチャンスを得たが、5本のフリースローのうち、2本しか決めることができなかった。その間、土別南は無得点で、スコアは0-4となった。残り4分以上を残したこの時点で、土別南はチームファールが5つとなり、更に辛い状況となった。土別中 宍戸の3Pが決まり、0-7となった時点で、土別南はタイムアウト。

タイムアウト後に、土別中は2-2-1のゾーンプレスを仕掛けるが、土別南中はあわてることなく攻め、ついに 小林がスピードのあるドライブで、シュートファールを誘うのに成功。フリースローも、2本中1本決め初得点をあげた。土別南中はここから 石上の速攻 佐藤が速攻とドライブ出連続得点し、一気に7-7としたところで1Pが終了した。

第2ピリオド

息を吹き返した土別南中は、小林がドライブで、フリースローを得て初得点、土別も負けじと、宍戸の3Pシュートで反撃するが、土別南のスピードが冴え 佐藤 石上 鈴木がどんどん得点を重ね土別中を突き放しにかかった。対する土別中も、松 辻本らのミドルシュートで反撃する。24-16と、この試合初めて土別南が8点のリードを奪い有利に進めようとするが、土別中も、辻本のドライブ、宍戸の3Pで24-21と挽回した。このまま、土別が追いつきそうにも見えたが、土別南の 小林のドライブ、石上のミドルシュートが連続して決まり、28-21で前半を終えた。

第3ピリオド

7点のビハインドを何とか後半で挽回したい土別中であるが、開始間際、土別南 佐藤に3Pを決められてしまう。更に、小林 石上も得点し、土別中にとっては、厳しい展開となった。土別中は、辻本のドライブ 松倉のフリースローそして 宍戸の3Pで加点していくが、怒涛の攻撃を見せる土別南との点差は、更に広がってしまう結果となった。

第4ピリオド

4Pは44-30で始まった。土別中としては、まだ可能性の残っている点差である。開始早々 影井がインターセプトからの速攻を決る。更に 辻本も速攻を決め、土別中が波に乗るかに見えた。しかし土別南も 佐藤 小林らの活躍で、なかなか点差をつめさせなかった。土別南は 鈴木木の5ファウル退場にも、リズムを崩さず、61-39でゲーム終了となった。

敗れはしたが、土別中の前半の戦い方、更に最後まであきらめずに粘り強く戦い抜く姿勢など、3年生にとっては最後の試合となる、中体連にふさわしい熱戦であった。

戦評 杉本 仁